# 苫工同窓会

発行
苫工同窓会本部
同窓会会長 渡辺健治
事務局長 柏倉幸一
苫小牧市字高丘6-22
TEL 0144-37-3088

# 令和６年度総会 役員改選

## 新会長に渡辺健治氏を選出

（機械44回 TOMASEIホールディングス㈱取締役会長）

定期総会

令和６年度の定期総会が７月27日（土）グランドホテルニュー王子にて１００名の出席のもと開催されました。

令和２年は２月に新型コロナウイルス感染が拡大したため、残念ではありましたが中止させていただきました。令和３・４年につきましても新規感染者が高止まり傾向にあり、また、予定していた会場がワクチン接種会場に指定されるなどにより中止いたしました。令和５年度については、10月の記念祝賀会が控えていたため会員皆様の出費を考え中止しました。今年度の総会は５年振りの開催となりました。

田中会長からは、昨年の10月14日の記念式典挙行をもって一連の重要行事が無事終了し、ご協力に改めて感謝申し上げますとお礼が述べられました。

引き続き協賛会の収支決算報告と令和５年度の同窓会第１号議案から第７号議案について報告説明があり原案通り承認されました。

## 役員改選

１００周年の関係から役員の改選が１年延期され、今年度が改選期になり第７号議案として協議、事務局より役員選考の経緯説明がありました。

選考委員会（鈴木委員長）案が全員の賛成を得て承認決定いたしました。

新役員は次の通りです。

（任期二年）

・会長　渡辺　健治（機44回）
　TOMASEIホールディングス㈱　取締役会長
・副会長　盛川　勝敏（機36回）
　㈱ミートフレンズモリ
・副会長　大坪　優（建41回）
　大坪建設㈱
・副会長　内田　忠吉（電43回）
　北英電工㈱　札幌支部顧問
・副会長　篠原　和行（土43回）
　関東六華会会長
・副会長　平田　幸彦（化47回）
　㈲エー・ピーショップ
・副会長　原　広吉（建48回）
　盛興建設㈱
・副会長　三石　稔（電49回）
・副会長　亀岡　正一（建54回）
　㈱亀岡塗装工業
・副会長　佐藤　靖浩（土56回）
　丸彦渡辺建設㈱支部長
・副会長　池添　卓哉（化56回）
　菱中建設㈱支部長
・副会長　大坪　靖（機61回）
　㈱ニッタンホームサービス
・副会長　岸本　英人（建64回）
　岩倉建設㈱支部長
・副会長　高橋　健一（機66回）
　苫小牧市役所支部長
・副会長　佐々木弥生（建70回）
　苫小牧市役所
・会計監査　和山　善正（機64回）
　苫小牧消防本部
・会計監査　佐々木勇次（機69回）
　王子製紙㈱
・事務局長　柏倉　幸一（化45回）
・事務局次長　矢倉　賢二（子64回）

## 退任挨拶

田中　稔　前会長

平成26年の就任以来10年間第九代会長として、理事会をはじめとして周囲のご支援で漸く役目を果たさせて頂き、新規事業としてホームページの立ち上げ、改革として会報「六華」のサイズ変更とカラー化が思い出されます。

協賛会長としても、４年間務め学校の教育環境整備など目標以上の成果を果たすことが出来、多くの方々に感謝申し上げますと共に、今後も皆様方より応援を頂き同窓会が発展することを祈ります。

## 感謝状の贈呈

同窓会の発展に功労のありました次の方々に感謝状の贈呈がありました。

・副会長歴任　鈴木　忠康　様
・副会長歴任　石堂　鉄雄　様
・副会長歴任　阿萬野一男　様
・相談役歴任　宇佐美忠義　様
・参与歴任　紺屋　隆　様
・参与歴任　藤村　省汝　様

## 懇親会

懇親会は同会場で行われました。来賓の方々は会員皆様の拍手でお迎えしご紹介をしております。

学校関係者として小山校長をはじめ両教頭、各科長、進路指導部長、企業からは岩倉建設㈱、㈱タナカコンサルタント、㈱苫小牧清掃社、㈱中村電気の各代表者が出席されました。

来賓者を代表し、小山校長からは１００周年記念事業の中で、学校環境整備と教育活動の助成として多くの寄付行為に対し、関係各位に感謝を述べられていた。

今後は苫工の歴史と伝統を次の１００年に最良の形で、繋いでいくため職員一同力を尽くして参りますとご挨拶された。

渡辺新会長挨拶

校歌斉唱

感謝状贈呈

新役員紹介

## 同窓会会長就任の挨拶

同窓会会長　渡辺健治

この度、令和６年７月27日定期総会にて皆様の推挙を頂き、北海道苫小牧工業高等学校10代目の同窓会会長という大役を仰せつかり、大変身の引き締まる思いであります。

田中稔前会長の卓越した指導力の下、１００周年事業を無事終えられましたことに誠に感謝申し上げます。

わが母校、北海道苫小牧工業高等学校は大正12年３月５日に創立されました。これまで幾多の時代を乗り越え昨年１００周年の大きな節目を迎えることができました。

この１００年という長い年月にわたり、母校が輝かしい伝統と教育を守り続けてきたのも、ひとえに卒業生の皆様、在校生、教職員方々そして地域の皆様のご支援とご協力のおかげであります。改めて深く感謝申し上げます。

特に昨年10月に行われました創立１００周年記念式典は、母校の歴史と誇りを改めて認識する貴重な機会となり本校体育館において多数の来賓、同窓生、そして在校生が一堂に会し、厳粛かつ盛大に挙行されたこの式典は、まさに母校の歴史と未来を象徴するものでありました。

私自身も、この式典を通じて母校に対する愛着と誇りを再確認するとともに、同窓会の一員として母校のさらなる発展に貢献していきたいと強く感じた次第です。

母校の校訓にある「質実剛健」は、創立以来、一貫して私たちの教育の礎となり多くの卒業生にとって人生の指針となってきました。この精神のもと、母校は今日まで２８０００名余りの卒業生を世に送り出してきました。卒業生の皆様は、各界において才能を発揮し、社会の様々な分野で活躍されています。

また、母校が設立された当時の北海道は、主に農業や漁業、林業を基盤とした産業構造でありましたが、時代の流れとともに、産業構造は大きく変化し、現在ではＩＴ産業・観光業・サービス業など多様な産業が発展しています。こうした変化の中で、母校は常に時代の要請に応じた教育を提供し、地域社会に貢献する人財を育成してきました。

これからの時代、母校がどのようにその伝統を引き継ぎながら、未来を切り拓いていくのかが重要な課題となります。同窓生同士のネットワークを強化し、若い世代との交流を深めることで、次世代を担う人財育成に貢献していきたいと考えております。

また、同窓生の経験や知識を共有する場を設け、地域社会や母校に還元していく取り組みも進めていきたいと考えております。

終わりに、皆様のご支援とご協力により同窓会がさらに活発で意義のあるものとなり、母校の発展に寄与できることを心から願い、皆様のご健勝とご活躍を祈念しての挨拶とさせていただきます。